

ヘルスケアサービス事業者 CIGNA は、顧客情報の取り扱いに配慮



医療

製品

- Vontu Network Monitor および Vontu Network Prevent
- Vontu Enforce Platform

主な利点

- Vontu サーバーを 2 日以内で設定
- CIGNA の HIPAA および PCI のコンプライアンスポリシーを、常時自動的に適用
- 転送、変更され続ける顧客および企業データの継続的な保護のために、暗号化ポリシーを自動化
- CIGNA のセキュリティインシデント対応チームによる正確な対応が、迅速に
- 経営陣や事業部門にセキュリティ基準に基づくパフォーマンス情報を提供

Vontu が選ばれた理由

- 管理コンソールの使用によって、インシデント対応チームの対応がより迅速に
- 簡単で柔軟なルール作成
- 複数のプロトコルを監視可能
- 豊富な知識と経験を持つレスポンスサポートチーム

米国最大手のヘルスケア企業の 1 つである CIGNA は、社員の健康の向上に役立つ福利厚生、専門知識、およびサービスを提供している。165 億ドル規模のこの企業は、米国と世界各地の約 4,700 万人の健康と暮らしとセキュリティを向上させるために、あらゆる医療、歯科治療、健康支援ならびに団体生命保険、傷害保険、身体障害保険を提供し、それによって同社のモットーである「A Business of Caring (思いやりのあるビジネス)」を実現しようとしている。

CIGNA は、顧客情報の取り扱いについても配慮している。個人情報可能なあらゆる手段で保護できるように、CIGNA では最近、シマンテックの Vontu Data Loss Prevention (DLP) 情報漏えい対策ソリューションを導入した。現在、CIGNA は Vontu ソリューションを使用して機密データの転送を監視し、データ漏えい防止ポリシーが自動的に適用されるようにしている。

移動の多いデータに求められる、常時追跡可能な柔軟なルール

規制の厳しいこの業界で多くの顧客のニーズを満たすにあたって、CIGNA の 2 万 5,000 人の社員は、保護対象の医療情報 (PHI)、社会保障番号 (SSN)、およびクレジットカード番号 (CCN) を含む大量のデータを処理しなければならない。顧客データのセキュリティを強化し、顧客が自分の個人情報が適切に取り扱われているということを確信するために、CIGNA はセキュリティ対策を強化することに決めた。

「数年間にわたりネットワーク境界の監視を続けてきたが、設備をアップグレードする時期が来た」と CIGNA の最高情報セキュリティ責任者の Craig Shumard 氏は語る。「データの移動の機会は増える一方であるにもかかわらず、暗号化であれその他の予防措置であれ、データが正しく処理されるという確信を得る必要がある」。

CIGNA はまた、保存されている機密データの保護対策についても強化したいと考えていた。そしてこの過程で、HIPAA (医療保険の携行性と責任に関する法律) およびカード会員情報のセキュリティ基準 (PCI, DSS) の要件が遵守されていることを立証するプロセスの強化を目指した。

「複数のソリューションを検討したが、Vontu DLP ソリューションはわれわれのニーズに最も適していると思った」と Shumard 氏は話している。「とくに管理ツールは、インシデント対応チームが直ちに問題を見つけて対処できるので気に入った。Vontu DLP ソリューションには、移動中のデータと静止しているデータの両方をカバーした単一のルールを作成する柔軟性もある。そのため、データがどこにあっても一貫した保護を提供できる」。

Vontu ソリューションによって社員が不必要なデータ流出の防止を確認

コンプライアンスソリューションの導入プロセスで、CIGNA は Vontu のサポートチームと協力し、Vontu サーバーを 2 日以内で設定することができた。本番運用開始後、まもなく CIGNA は Vontu DLP ソリューションが CIGNA の環境で評判どおりの成果を示していると判断した。

「運用開始した今、Vontu DLP ソリューションは POC(コンセプト実証)プロセスのときと同様に優れたパフォーマンスで機能している」と CIGNA 情報保護責任者の Helene Rosenblatt 氏は言う。「CIGNA のユーザーの立場から言うと、Vontu DLP ソリューションは見た目どおり使いやすい。管理コンソールからインシデントの情報が常時伝えられるため、インシデント対応チームは迅速かつ適切に対応できるようになった」。

CIGNA ではさらに、電子メールのトラフィックを監視し、社会保障番号(SSN)や保護対象の医療情報(PHI)を含むメッセージが ZixCorp の電子メール暗号化サービスによって暗号化されるようにする。Vontu ソリューションでは自動的にポリシーが適用されるため、CIGNA のユーザーは暗号化ポリシーに確実に従うことができ、機密データ保護の総合的強化に役立つ。CIGNA は、Vontu DLP ソリューションを使用して、追加の Protokol 追跡も始めた。近々、Vontu Data Discovery and Protection 機能も追加予定である。

「Vontu を使用して、FTP セッションなどにすでに複数の潜在的な問題が見つかった」。「複数の Protokol を監視できることも、われわれが Vontu ソリューションを選んだ理由の一つだ。現在、電子メール以外の Protokol を監視する専用の Vontu サーバーを追加配備する計画を立てている」。Rosenblatt 氏はこのように語った。

コンプライアンスの立証に役立つ Vontu ソリューション

Vontu の自動ポリシー適用によって CIGNA では、顧客データを HIPAA のセキュリティ規制ならびに、クレジットカード会員および PAN(会員番号)データに関する PCI DSS 要件に従って処理できるようになる。また、月次インシデントレポートをもとに、CIGNA の経営陣はこれらの要件の遵守をより簡単に立証することができる。

「Vontu のレポートによって弊社の経営陣はセキュリティ全体の状況を常時知ることができ、事業部門に特定エリアのセキュリティ基準に合致したパフォーマンス情報を伝えることもできる」と Shumard 氏は語る。「ポリシーの施行状況を常時わかりやすく確認できるため、4,700 万人を超える顧客の個人情報の保護を従来に比べより確実かつ効率的に遂行できるようになった」。

▶「Vontu DLP ソリューションではきめ細かい検出が可能のため、これまでわからなかった潜在的な問題エリアを発見できた」。

最高情報セキュリティ責任者
Craig Shumard 氏

▶稼働している Vontu ソリューション

1. Vontu Network Monitor では、電子メールと FTP 通信をスキャンし、社会保障番号、クレジットカード番号、保護対象の医療情報、会社の機密情報がないかを調べる。
2. Vontu Enforce Platform は、CIGNA の社員に顧客データや企業データを含むメッセージの暗号化を指示することによって、機密データの総合的強化を支援する。

株式会社シマンテック

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ

www.symantec.com/jp/vontu

